

令和4年度 第4回府中市環境審議会会議録（要旨）

令和5年1月27日（金）

午後6時00分から午後7時10分まで
府中市役所北庁舎3階第5・第6会議室

■出席委員（17名）

対面 榎本弘行委員（会長）、表伸一郎委員（副会長）、澤佳成委員、安部貞司委員、栗原昭良委員、嶋原國夫委員、吉武考三郎委員、高野茂久委員、三浦健仁委員、河村幸子委員、金本敦志委員、成瀬こずえ委員
リモート 小西信生委員、青山一彦委員、江島大介委員、平崎崇史委員、吉川正人委員

■欠席委員（3名）

金子弥生委員、山田義夫委員、山村憲太郎委員

■事務局

新藤生活環境部長、田中環境政策課長、田口環境政策課副主幹、扇山環境政策課長補佐、白木環境政策課自然保護係長、環境改善係谷口、環境改善係越智、自然保護係中澤

■傍聴者

なし

1 開会

2 議題

第2次府中市環境基本計画（環境行動計画）及び府中市地球温暖化対策地域推進計画
中間見直し後の進捗状況について

2 報告

(1) 第3次環境基本計画のパブリックコメント実施結果について

(2) 府中市環境行動指針（案）について

4 その他

5 閉会

■配布資料

次第

資料1 府中市環境基本計画及び府中市地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況について
（諮問）

資料2 第2次府中市環境基本計画 環境行動指針の進捗状況

資料3 第2次府中市環境基本計画個別目標取組

資料4 府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後進捗状況

資料5 第2次府中市環境基本計画及び府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について（答申）案

資料6-1 「第3次府中市環境基本計画（案）」に対するパブリック・コメント手続の実施結果

資料6-2 パブリック・コメント手続後の計画の修正部分

資料7 府中市環境行動指針（案）

■会議録（要旨）

【事務局】

定刻になりましたので、ただいまから、令和4年度第4回府中市環境審議会を開催させていただきます。

本日は大変お忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の会議につきましても、会場とウェブ会議システムを併用しての開催とさせていただいております。

ウェブ会議でご参加いただく方へ、改めてのお願いとはなりますが、注意事項をご説明いたします。

1点目に、音声の混線を避けるため、発言されるときを除き、音声についてはミュート状態にしてください。

2点目に、ビデオについては通信環境の確保のため、オフとしてください。

3点目に、発言をする際は、ミュートボタンをオフにし、氏名を名乗っていただき、会長又は事務局より指名がございましたら、その後ご発言ください。

また、ウェブからご参加されている委員の方に発言者が分かるよう、マイクを渡す前に事務局から「何々委員です」等とご案内させていただきます。委員の皆様におかれましては、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、会議に入ります前に、お手元にお配りさせていただきました資料の確認をさせていただきます。

（配布資料の説明）

以上の資料を配布させていただきましたが、過不足等はございませんでしょうか。

また、本日お配りしておりませんが、皆様には、9月27日に実施した第3回環境審議会本会の会議録を送付しました。また、温暖化部会の委員の皆様には、8月29日に実施した第3回地球温暖化対策部会の会議録も送付させていただきました。修正のご連絡をいただいた方の部分につきましては既に修正しておりますが、それ以外の部分で問題がなければ、府中市環境審議会規則第5条第4項に基づき情報公開室やホームページで公開したいと存じますが、いかがでしょうか。なお、公開に際しましては、皆様のお名前は伏せさせていただきます。

よろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

ありがとうございます。それでは、第3回環境審議会本会の会議録と第3回地球温暖化対策部会の会議録については了承とし、今後ホームページ等で公開してまいります。

本日の会議の欠席者の報告をさせていただきます。本日の会議に、委員からやむを得ない事情で欠席の連絡を受けておりますので、ご報告させていただきます。欠席者の連絡は以上でございます。

それでは、ここからの議事は会長、よろしくお願いいたします。

【会長】

寒い中お集まりいただきありがとうございます。ここからの議事は私が行います。よろ

しくお願いいたします。

議事に入る前に委員の皆様申し上げます。新型コロナウイルス感染症の再拡大防止のため、発言は5分程度で簡潔明瞭を心掛け、会議に要する時間の短縮にご協力くださいますようお願いいたします。

初めに、傍聴人について委員の皆様にお諮りします。府中市情報公開条例に基づき原則公開となっております。傍聴人はいますか。

【事務局】

本日、傍聴人はおりません。

【会長】

それでは次に進みます。今回と次の審議会では昨年度ご審議いただいた今年度までの計画である第2次府中市環境基本計画と府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について審議していこうと思っておりますが、その前に諮問となります。

事務局よりお願いします。

【事務局】

それでは、次第「2 諮問」に入らせていただきます。

今年度は第1回審議会本会から第3回本会まで次期環境基本計画についてご審議いただきましたが、第4回本会と第5回本会では、毎年度行っております現行計画の進捗状況について諮問させていただき、ご審議いただきます。

まずは、生活環境部長の新藤より、諮問書の伝達をさせていただきます。委員の皆様におかれましては、資料1をご覧ください。

(諮問書の伝達)

【事務局】

ありがとうございました。会長、新藤部長、席にお戻りください。

諮問の趣旨につきましては、お配りしております資料1の裏面に記載のとおりとなっておりますので、そちらもご確認のほど、よろしくをお願いいたします。

【会長】

それでは、次第「3 議題」に入ります。今、追加の諮問がありました第2次府中市環境基本計画（環境行動指針）及び府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について審議してまいります。

事務局から説明をお願いします。

(資料2～5、7を説明)

【会長】

ありがとうございました。事務局から説明がありました。何かご意見、ご質問がありましたらお願いします。

【委員】

意見や質問ではありませんが、軽微な間違いがあります。資料2の3番の備考「より快適な空間づくり」とあるべきところが「よち快適」になっています。また、5番の備考「しゅん功」とありますが「竣工」ではないかと思えます。

【会長】

この2点については修正しますか。修正するということですね。ありがとうございます。

ほかにご意見、ご質問がありましたらお願いします。

【委員】

資料2の評価Cは「遅れが生じている、このままでは目標達成が難しい」ですから一番厳しい評価だと思いますが、厳しすぎるのではないかと思ったものがあります。例えば、29番は10回の目標に対して7回は開催しています。令和3年はコロナ禍という大変厳しい状況ですので、Bぐらいでもいいのではないかと思いました。「遅れが生じている、このままでは目標達成が難しい」というのは、令和3年は7回は頑張って実施したけれども、10回は夢みたいな数字なのでもう絶対にできないと言っているのでしょうか。それとも令和4年は既に結果が出ているから、それを見越してCにしたのでしょうか。

ほかにも、32番も、令和4年度までの最終目標が100人のところ80人でC評価です。「目標達成を放棄しました」というものがC評価だとしたら、80人ならまあまあではないかと思いました。

【会長】

評価の仕方についてですが、事務局はいかがでしょうか。

【事務局】

ご意見をいただきましてありがとうございます。各担当課に確認して評価をつけていただきましたが、全体を見渡すと、おっしゃるとおり確かに厳しいものがあるかもしれません。例えば、28番は目標6回に対して実績2回でBになっていますが、ここはCではないのか等、どう判断するのかという部分もあるかと思えます。各課で考え方、捉え方に差があると思えますので、改めて確認させていただいて、全体を見渡す中で必要があれば修正を掛けていきたいと考えております。

【委員】

ここではABCという評価をしていますが、そもそもこのような数値目標を設定することに妥当性等もあるので、これそのもので良い悪いという話ではないような気がします。むしろ、基本的には環境行動指針という表題を常に頭に置いて行動することが大事なのだらうと思えます。

そのうえで一点確認ですが、18番の備考に「年度を通して太陽光発電設備を対象とした施設はなかった」とありますが、「対象とする施設」はどのような定義ですか。例えば、市の施設はすべて設置済みなので対象外ですか。

【会長】

事務局、指針18について、この意味を説明してください。

【事務局】

ここで設定している「対象とする施設」は新築あるいは改築です。そういうときに太陽光発電設備を入れるという考え方で整理しています。

【委員】

今の点については私も疑問に思うところがありました。「備考欄」とありますが、各課での取組が実際にどのような内容だったのかということをもう少し詳しく書いていただけたらと思います。私が特に疑問に思ったのは35番です。参加人数の達成度がCになっています。「学習会については次年度オンライン開催としたため、致し方ない結果となった」とありますが、このときは0人ですが、オンラインでは実施していないのでしょうか。もしオンラインで実施していたのであれば、参加人数に入れてよいのではないかと思います。

【会長】

委員お二人からの質問ですが、事務局はどうでしょうか。

【事務局】

令和3年度は学習会ではなく講演会という言い方をしていますが、企画や次年度にオンラインで配信開催をするための録画等の準備行為はしておりましたが、実際のオンライン開催は令和4年度に持ち越しましたので、令和3年度は参加者の人数は計上しませんでした。

【会長】

実際のオンライン参加はどのぐらいの数ですか。

【事務局】

2講演実施し、合計で約40人の参加者がいました。

【会長】

それも人数に入れてよいのではないかとというのが委員のご意見です。

【事務局】

今申しあげました開催回数、人数は令和4年度に実施した結果ですので、令和3年度は開催していないかたちです。

【委員】

開催回数が実現できなかったからCになっているわけですが、「どういう取組をして、どういう内容で、意識が高まってはいるけれども開催には至らなかった」というように、

実施していたことはあるのですから、もう少し内容を書いていただければもっと良いと思いました。Cというのは確かに厳しすぎると感じています。

逆に、これはAでいいのかというものもあります。例えば、39番、40番、41番は、「導入予定校はなし」でAになっています。市内の小中学校は全部で32校あると思いますが、導入予定がないから3校の実績だけでAでいいのか。今度どのように進めていくのか、その後は何校予定している等、もう少し具体的に予定まで書いていただいたほうが、皆さんが頑張っていることが見えるのではないかと思います。

【会長】

事務局、いかがでしょうか。

【事務局】

皆様、ありがとうございます。おっしゃるとおりでして、それぞれの取組の内容に対するしっかりとした評価ができてきているのかという部分につきましては、やはり全体を通して見ると差がある部分がありますので、いただいたご意見を踏まえて改めて確認等をとらせていただいて、今ご指摘していただいたものについては反映させていくようなかたちで整理していきたいと考えております。

【委員】

資料5の答申案の「平成26年度から令和2年度の進捗状況を本審議会に報告いただき、概ね順調に進捗している」とありますが、これは会長が市長に対して答申するわけですから、例えば「本審議会が答申したとおり概ね順調に進捗している」等という書き方のほうがいいのではないのでしょうか。自分の審議会に対して「報告いただき」という妙な謙譲語を使うのはおかしいのではないかと思います。

【事務局】

ご指摘ありがとうございます。こちらにつきましては、「平成26年度から令和2年度の進捗状況を『市から』本審議会にご報告いただき」という意味で書かせていただきましたが、主語が抜けているので分かりづらい文章になっていたかと思っておりますので、ご指摘いただいたとおり手直しさせていただきたいと思っております。

【委員】

もう一カ所、同じページの下から3行目に「推進等を担う府中市環境保全活動センターは、当初予定した環境保全センターの在り方と」となっていますが、「当初予定した同センター」あるいは「当該センター」等としたほうがよいのではないかと。急に、府中市環境保全活動センターを環境保全活動センターと略すのはいかがかと思っております。

【事務局】

同じページの下から2行目も「当該センター」という言い方をしておりますので、統一を図るように修正いたします。ありがとうございます。

【会長】

その他、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

【委員】

資料2は「備考」となっていますが、報告するための評価がどうなっているかが書かれているので「備考」ではないような気がします。

また、第2次は諮問をいただいて国や都の取組を受けて作ったのだらうと思いますが、令和2年から3年経って世の中は相当変わっています。この備考欄には定量的なことばかり書いてあるので「対象物件はなかった」という書き方になってしまいますが、定性的にどうなったかというようなことも含めて、もう少し丁寧に記載する工夫をしたほうが分かりやすいと思います。回数を実施すればいいというだけでなく、もう少し前向きに自己評価したほうがよいのではないかと思います。

【会長】

「備考」について、複数の方からもう少し丁寧な記述が必要ではないかというご意見がありました。これについて事務局、いかがですか。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。「備考」を「評価の理由」等の適切な表現にしていくことも必要かと思います。先ほどから様々なご意見をいただいておりますので、今いただいたご意見を踏まえまして、実施してきた内容をより評価できるように全体を見直して、所管課等とも確認をとりながら修正を図っていきたいと思います。

【委員】

特に39番については、府中市市庁舎は実施しているのに、それが対象物件にないのはおかしいのではないのでしょうか。2年までにできあがっていなかったから対象に含まれないということであれば、もっと違う書き方があるのではないかと思います。市庁舎や小中学校の建替工事等皆が注目している工事をやっているのに、「対象とした施設がなかった」というのはもっと違う表現で前向きに自己評価したほうがいいと思います。

【会長】

丁寧な説明が必要だということですね。
事務局からありますか。

【事務局】

まず、結果を見ると「～をやってきた」、「～だった」という表現が多いと思いますが、次にどうつなげていくかという書き方が必要かと思いますので、それも含めて検討させていただきます。ありがとうございます。

【会長】

ほかにご意見、ご質問はありますか。

【委員】

資料2の2番は「用水の通年通水を実現するため」と書いてあってA評価になっています。資料3の「水辺の保全と活用」には、府中市では西府町と瀧神社の2カ所で湧水が出ていると書いてありますが、これはわずかな量で去年は〇・二四立方ですから到底通年通水に足りるほどの水量ではないのにA評価になっているのは納得がいきません。府中用水は国立、府中で、土地改良区で立川段丘から多量な湧水が出ておりまして、その湧水を使って府中、国立が稲作をして、足りない部分は多摩川から取水しています。立川崖線から出る湧水は現在も府中へ流れております。国立はなるべく府中へ行くように努力していますが、府中はそれを都市排水路に流して多摩川に流してしまっています。それを利用すれば十分な水量がありますので、通年通水ができます。

稲城用水は多摩川から水を取って通年通水をやりましたが、自然災害があったので、たぶん2年後ぐらいには自然流入方式になると思います。今までは府中郷土の森の南側に堰を設けて通年通水をやっていましたが、異常気象があって危ないということで堰を壊して自然流入方式にするということで、稲城はもう通年通水はできないと思います。府中は立川崖線から湧水を府中まで回ってきておりますので、多摩川に捨てないでそれを利用すれば通水はできるのです。何度も言っていますが、立川段丘から出る湧水を利用しない限りこれはできないのです。できないのに、なぜAと書いてあるのかお答えいただきたいと思います。

【事務局】

今この場では明確な回答が難しいので、主管課である公園緑地課等に今のお話を確認させていただければと思います。

【委員】

府中から出たものだけを湧水と捉えています。水は天下の回りもので小河内から出てきても湧水であればそれは湧水です。そういう定義にしない限り、府中だけの湧水で何ができるのか。それでAと書いてありますから、できないのになぜAという評価をしたのか合点がいかないです。やはりもっと広く捉えて、湧水であれば府中を通ればそれは（府中の）湧水だという判断を下さない限り、A評価はたぶんできないでしょう。できたら、府中を通る湧水もここに含んでいただきたいということです。

【会長】

ありがとうございます。事務局、今のご発言に対していかがですか。

【事務局】

考え方等も含めて確認したいと思います。ありがとうございます。

【委員】

今、委員から話がありましたが、指針には「田園風景を構成する重要な要素」と書いてあります。通水したからよいということではなくて、通水したことによって田園風景にどのような効果があったかということが書いてあるわけですね。公園緑地整備だけではないかもしれませんが、今後はそういうことも含めて検討していかなければいけない等、指針と違う項目があちこちに書いてあります。例えば、ネットワークだとか休憩場所を作る等と

ありますが、休憩場所は作っているけれども壊しているところもたくさんあります。総括の中には、これからの高齢社会の中でむしろこういうことを充実していかなければいけないと書くべきではないかと思います。

4番には都市農地の話もあります。田園、住居地域といったことも含めて、今後どういうふうになるかといったことを書かないと、これからは繁栄できないのではないかと思います。各項目を言い出すと切りがありませんが、例えば27番は国からも都からも、「災害復興計画を位置づけて書きなさい」と書いてあるのに、今回の都市計画マスタープランには書いていない。計画だと連携されていないようになっていますが、そういった総括をきちんとしたほうが良いと思います。

「備考」のところはもっと行を増やしてもいいので、今後につながるようなものに総括、自己評価していただいたほうが良いと思います。

【会長】

ありがとうございます。やはり評価が定量的な分析にとどまって、定性的なところが含まれていないということですね。

【委員】

今気がついたところだけ言いました。各項目を言い出したらこれはどうかというところがたくさんあるので、最初は黙っていたのですが。

【会長】

なぜAなのか、Sなのかといった原因についてはしっかり書いたほうが良いということだと思います。事務局、いかがですか。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。確かに各項目を見ると様々なご意見があるかと思えます。今ここですべて出していくのはなかなか難しいことだと思います。今この時間でもかなりご意見をいただいておりますので、見ていただく中で疑問点を感じることも等は、ぜひお声として聞かせていただければありがたいと思います。それを踏まえて各課にも照会等をかけて考え方等を整理していきたいと思えます。この場では難しいと思えますので、あとで読み返していただいて、私へのメール等でも結構ですので、ご意見や気づいた点等をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

【会長】

委員、お願いします。

【委員】

今のと関連しますが、お答えが難しいと予想されるのは予算との関係です。評価の基礎になる数字がどこから出ているかという点、例えば、学校の芝生化や太陽光発電設備というのは、何校あるうち実現できたのは何校かという比率を出さなければ、AなのかBなのか何パーセントになるか評価できません。年度別に予算との関係があるかもしれませんが、その点がはっきりしないと全体の評価が難しいのではないかと。予算を明らかにできる

のかできないのか、何年度までに百パーセントまで実現できるのか、ということについてはいかがでしょうか。

【会長】

予算についても必要であればこの中に書くという意見もあるかと思いますが、事務局はいかがですか。

【事務局】

ありがとうございます。こちらの表で最終目標というところがあります。そちらは最終年度までの目標を立ててその評価ということで、予算という面ではゼロではないと思いますが、そういった考え方で設定にはなっていないと整理しております。

【会長】

ありがとうございます。委員、いかがでしょうか。大丈夫ですか。

【委員】

最終目標が何校のうち現在は何校までできているからAだとかBだとかいうことは評価できるかと思いますが、全体像が分からないと評価はどうなのでしょう。実現していないところは何年度までに実現できるのかという疑問が当然起きてくると思います。そうすると、現在Aと評価しても、それは年度ごとの評価というだけのことです。太陽光発電設備にしてもそうです。皆さんご存じだと思いますが、古い小学校にはトイレ等も30年、40年前ぐらいの状態になっているところもあるのです。それも予算との関係だろうと思いますが、一概にAだとかBだとか評価されても疑問に思わざるを得ません。

【会長】

予算のことが評価の背景にあるということですね。

【事務局】

ありがとうございます。そういった比較も必要かと思いますが。例えば、39番に小中学校に対する太陽光発電設備の項目がありますが、府中市には小学校が22校、中学校が11校で合計33校あります。今回の第2次環境基本計画の期間は平成26年～令和4年ですが、その期間中に更新の時期を迎える小中学校に太陽光発電設備を導入していこうという考え方で整理をしております。今回は最終目標として計画期間中に5校に太陽光発電設備をしていこうという目標を立て、そのうち3校が実現できているのでA評価になります。33校すべてに太陽光発電設備を導入するのが本当の最終目標でしょうけれども、この計画の目標ということでは、予算の兼ね合いもありますけれども、期間中に5校程度だろうと整理をしております。そのように見ていただければと思ってはおりますが、いかがでしょうか。

【委員】

そうすると、どのような基準で施行する学校が選ばれるのか心配です。選ばれた学校はいいですけども、選ばれない学校はなぜかとか、どういう方法で選ばれるのかという透

明性がないと疑問だけが残るのではないかと思います。

【会長】

ありがとうございました。時間が押してまいりましたので、行動指針について追加のご質問等がありましたら、事務局にメール等でご連絡いただきたいと思います。

【委員】

今のご意見を受けて答申案を書き換えることになるのですか。

【会長】

答申案は修正することになりますね。答申案を修正し、次回確認して渡すかたちになります。

【委員】

会長として、市に対してもっと厳しく書いたほうがいいかもしれません。

【会長】

はい。

【委員】

それと重要なのは「加えて」と書いてありますが、環境保全活動センターはこの会としてもとても重要な話なので「加えて」というよりも「特に」だと思います。市民協働の観点からもこのセンターをどういうふうに運営していくか、ずっとこの会議の課題になってわけですから、不都合がある部分は、今出てきた意見も含めて、会長としても答申として市長に「こうしなさい」と言うべきではないかと思います。

【会長】

答申案についてのご意見ですね。分かりました。

では、先に進ませてもらいたいと思います。次第「3 報告」です。一つは第3次環境基本計画のパブリックコメント実施計画について、もう一つは府中市環境行動指針についてです。事務局より説明をお願いいたします。

(資料6を説明)

【会長】

事務局より報告がありました。これは報告なので諮問された内容ではありません。議論は行いませんが、何かありましたら事務局に連絡していただきたいと思います。

なお、今何かありましたら出していただければと思います。

【委員】

この環境行動指針を基に評価していくわけですが、具体的にどういう指標で達成度を決

めるのか。こういうことを念頭に置いてそれを忘れずにやっていきたいと思いますということなので、指標の作り方はぜひ工夫していただきたいというのが私の提案です。

【会長】

ご意見ありがとうございます。第2次基本計画のときの失敗をまたしないように。

【委員】

そういうことです。

【会長】

事務局いかがでしょうか。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。現行計画については環境行動指針に基づいて指標を定めて評価を行ってまいりましたが、今回の第3次の計画においては、この環境行動指針はあくまでも市民や事業者等の方々に取り組んでいただく手引書となるもので、こちらをもって評価するわけではありません。これまで本会でもご審議いただきました各施策の取組指標、成果指標を設定していますので、そちらで評価していくかたちで進めていければと考えております。

【会長】

よろしいでしょうか。

【委員】

細かい部分ですが、基本方針2、外来生物の5、6ページ辺りにある外来種被害予防三原則は考え方であって取り組むものではないので「外来種被害予防三原則に則って取組を進めます」といった表現のほうがよいと思います。

また、5ページの「外来生物を入れない・捨てない・拡めない」は「げ」が抜けています。5ページは「生き物」、6ページは「生きもの」と「生き物」が混在していますので文字の統一をお願いできればと思います。細かいところで恐縮ですが、よろしく願います。

【事務局】

ご指摘ありがとうございます。こちらで完全に見切れていない部分がありました。こちらの内容につきましても案としてお示しさせていただいていますが、基本的には環境基本計画でご審議いただいた内容に沿って作成しているものでして、お気づきの点がございましたら、先ほどご審議いただいた内容とも併せてご意見等をいただければと思います。

ただ一点、環境基本計画の本体そのものの内容に沿わないものについては、少々ずれが生じてしまう場合がございます。これまで審議してきました方針、取組内容に沿ったもので、例えばここを入れ替えたほうがいいのかといった意見がございましたら、お寄せいただければと思いますので、よろしく願います。

【委員】

最初に質問があります。「府中市環境行動指針」は前回のような冊子になるという理解でよろしいですか。

【事務局】

別冊というかたちです。

【委員】

今回送っていただいたものには基本方針等の様々なことが書いてありますが、それだけでは分かりません。前のものには前段に環境像や環境体系が載っていました。前のもののほうが分かりやすいと思ったので、前段に基本計画の13、14ページ辺りから何ページか入れたほうがより分かりやすいと思います。

また、市民のアクションのところ「～します」という言葉遣いをしているのは違和感があります。

【会長】

二つ質問がありました。基本計画についても述べておくべきではないかという話と、「切り替えます」「高めます」等の言い方について、事務局からお願いいたします。

【事務局】

一点目につきましては、ページ数の兼ね合いもございますが、全体像も必要なので検討させていただければと思います。

表現の部分につきましては、そもそも環境基本計画の本体の中で、それぞれの個別施策は、主体的にやっていきますという意味合いで、市、市民、団体、事業者の取組はすべて「～します」といった表現をさせていただいていますので、指針においても主体的にというところに入れさせていただいております。

【会長】

主語は「私は」ということですね。

【委員】

分かりました。

【会長】

その他ありますか。そうしましたら、報告を終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

次第「5 その他」ですが、事務局から何かありますか。

【事務局】

次回の審議会の日程ですが、令和5年3月22日水曜日午後6時からの開催を予定しています。会場等につきましては、開催通知等で追ってご連絡を差し上げます。

また、本日配付させていただいております委員名簿をご覧ください。第3次環境基本計

画では環境審議会委員名簿を掲載させていただきますので、お名前やふりがな、備考欄等ご確認いただきまして、修正等がございましたら、本日このあと、あるいは来週中に事務局までご連絡をお願いいたします。ご説明は以上となります。

【会長】

今日の予定はこれで終わりますが、皆様のほうから何かご意見、ご質問がありましたらお願いします。

それでは、今日はこれで終わりにしたいと思います。事務局、よろしいですか。

これにて本日の審議会は終了いたします。お疲れさまでした。

終了